

リモートセンシング技術を活用した被災状況把握の高度化(イメージ)

- 地震・風水害等の大規模災害発生時、港湾では緊急支援物資の受入やサプライチェーン維持の観点から港湾機能の維持が必要となる一方、職員等により港湾全体の被災状況を把握することが困難なことから、施設の利用可否判断、被災した港湾施設の迅速な復旧や航路啓開等の支障になることが懸念される
- これらの課題に対応するため、高性能ドローンや衛星データ等のリモートセンシング技術を組み合わせて活用し、警報発令下においても速やかな被災状況把握が可能な体制を構築するとともに、施設の迅速な利用可否判断や応急復旧等を実現。

